



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2013年10月のロータリーレートは1ドル=100円

パストガバナーからの手紙

158回 炭谷 亮一

「めざせ世界の学術大国」方法論その1 東大の改革

10月5日の小松での地区大会の基調講演をされた、川本立命館大学元理事長に、浅学非才ながら私は以下の様に質問した。「世界の一流大学と言われている海外の大多数の大学の在校生に占める留学生の比率は過半数を超えている。ところが日本の代表的な大学である東大・京大で留学生の比率はせいぜい10%程度、おそらく日本語の要件の為に留学生が少ない様に思われる。世界のトップクラスの大学はグローバル化し、優秀な留学生をどんどん受け入れているのに、日本のトップクラスの大学でさえ海外からの留学生の受け入れを日本語の要件と言うハードルでむしろ拒否している様に思いますが、先生はどうお考えでしょうか？」

川本先生は以下の様にお答え下さいました。「先生のおっしゃる通りです。日本の大学に多くの優秀な留学生を受け入れるには、日本語の要件をはずして、大学の公用語を日本語と英語にすべきであり、留学生に対して英語で対応

出来る姿勢を整えなければ、留学生は増えない。日本の大学はこう言った後進性に危機感を覚え、改革を実行しなければ、学術面でも二流、三

QS World University Rankings 2013-2014

順位	大学	国
1	スタンレー・カニングハム大学	米
2	ハーバード大学	米
3	ケンブリッジ大学	英
4	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	英
5	インペリアル・カレッジ・ロンドン	英
6	オックスフォード大学	英
7	スタンフォード大学	米
8	エール大学	米
9	シカゴ大学	米
10	カリフォルニア工科大学	米
10	プリンストン大学	米
32	東京大学	日
35	京都大学	日

順位	大学
32	早稲田大学
35	慶応大学
55	大阪大学
55	東北大学
66	筑波大学
75	広島大学
98	名古屋大学
138	北海道大学
144	金沢大学
193	熊本県立大学
210	岡山大学
220	早稲田大学
276	東京理科大学
304	神戸大学
307	奈良大学
441-450	千葉大学
441-450	東北理科大学
501-550	愛媛大学
501-550	岡山大学
501-550	京都大学
501-550	慶応義塾大学

順位	大学
551-600	熊本大学
551-600	長崎大学
551-600	大阪府立大学
551-600	宮崎県立大学
601-650	岐阜大学
601-650	新潟大学
601-650	大阪府立大学
651-700	群馬大学
651-700	立命館大学
651-700	山口大学
651-700	福澤大学
701+	青山学院大学
701+	関西大学
701+	関西学院大学
701+	法政大学
701+	埼玉大学
701+	信州大学
701+	愛媛大学

出所：QS World University Rankings 2013/2014  
(http://www.topuniversities.com)

クラブ例会予定 2013-2014 年度

- 11/21 魏百夏 様
- 11/28 未定
- 12/5 年次総会
- 12/12 藤弥昌宏様
- (金沢青年会議所 2013 年度理事長)
- 12/19 年忘れ家族例会

2013～14 理事・役員 委員会 ★太字：理事役員

(役員) 会長：野城勲 エルト：宮永満祐美 副会長：若狭豊 副会長：魏賢任 幹事：上杉輝子 副幹事：井口千夏  
会計：東海林也令子 SAA：武藤清秀 直前会長 北山吉明

(理事) クラブ管理運営委員長：西村邦雄 副：二木秀樹 親睦：○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満  
井口千夏 宍戸紀文 プログラム：○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA：○武藤清秀 大路孝之  
川きみよ ニコニコ：○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則：○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智  
直前委員長：○村田祐一

奉仕プロジェクト委員長：木場紀子 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 竹田敬一郎 木村幸生 社会：○谷伊津子  
辰己クミ 大沼俊昭 国際：○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子

喫煙問題：村田祐一 会員組織委員長：金沂秀 副：辰己クミ 会員増強修練：○藤間勘菊 石丸幹夫  
炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：永原源八郎 ロータリー財団・米山寄付：  
○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付：野城勲 広報委員会委員長：村田祐一 副：江守道子  
広報：○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 ロータリー情報：○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報ホーム  
ページ：○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間  
京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19：00

事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241 (事務局) 村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9：00～15：00 休憩時間 12：00～13：00 木 15:00～20:00

休日 (土日祝日) 幹事 上杉輝子

流になってしまう」とお話しされたのが印象的だった。

そこで日本の大学は世界でどの程度にランクされているか見てみると以下の様である。

数年前と比較すると東大・京大はじめ、その他の日本の大学のランキングの下落が目立つ結果となった。また、なんとなく日本の大学のランキングを見ていると、入試難易度を見ている様だ。上記日本の大学の中で、東大だけが著しく危機感を持って、改革に取り組んでいる様である。

日本のトップ大学、東京大学の濱田総長は「今の東大は学生の潜在力を十分に引き出せていない」と。更に「米英トップ大学に水をあけられ、アジアの新興大学が追い上げて来ている」「決してこのまま座して死は待たぬ」と、大改革にのろしを上げた。まず最初に「秋入学」がグローバル化時代に日本を再生する切り札になると信じ、2015年度までにと構想をぶち上げたが、大学内外の反発を招き、今年7月に計画は挫折。「4学期制」へと後退したが、それでも濱田総長は諦めていない。

現代社会は正解の見えない問題に、世界を視野に入れて取り組む必要がある。その為には、従来と異なる教育や研究手法が求められている。一言で言えば「多様性」である。「秋入学」はこの多様性を大学にもたらす。つまり偏差値主義の単線型の教育ではない、新たな人材育成が出来る。まず、海外の大学と入学時期や学期を揃えれば、学生は日本と海外の大学を自由に行き来出来る。そして海外留学している日本人の学部生の比率は現在わずか0.6%だが、大幅に改善が見込める。

大学ランキングは重要である。ランキングは学生が留学先と研究者が移籍先を選ぶ際の重要な道標となっている。我々東大も順位を上げる努力をしなければならぬ。海外から優れた研究者を招聘する財源が少なく、また研究費も十分ではないが、優れた研究論文を多く書き、また引用してもらえる様、頑張るしかない。更には近年トップレベルの学生(学部・大学院)への奨学金の相場は暴騰し、東大は対抗出来ていない。しかし資金面では世界のトップクラスの大学に対抗出来なくとも、カネに代えられない東大の魅力を高めて行くしか方法はない。その為には、国際的な研究ネットワーク作りを学部のみならず、大学が強力に支援する必要がある。学部では日本語が壁となり、優秀な留学生が来ないなら、こちらが英語でやるしかない。その為に昨年からは英語だけで修了出来るコース「ピーク」を始めた。現在30人程度だが、更に規模を拡大する予定だと言う。世界の大学のグローバル化に対応し、「多様性」を生む新たな教育を確立すること、これが教育(大学)改革の本質である。

大学で知識を開発する手法が変われば、社会に大きな影響を及ぼす。その為大学改革は東大だけではなく、社会全体で考える問題である。「秋入学」はその一歩であり、諦めないで話し合いを続けて行くと、濱田総長はきっぱり断言した。(2013.10.14 日経ビジネスより引用)

大学の實力はその国の国力であり、未来へつなげる力であると言える。日本の社会全体で大学改革について考え、実行し、時には日本の社会システムの一部を変更する必要があるだろう。



## 例会優り

### 第722回例会

ホテル日航3F

11/28(木) 19:00

出席率 22/37 59.46%

8月修正出席率 70.76%

## 点鐘

ソング 『それでこそロータリー』  
四つのテスト



会長挨拶：先週は都合が悪く休ませていただき、魏さんに代わりを務めていただきありがとうございました。私はその日、輪島の時国家近くにおりまして、泊りの際、途中、千枚田のライトアップを初めて見ましたが、大変綺麗でした。テレビ、新聞等で

写真を見ておりましたが、その場で見ると、とても素晴らしいですね。写真マニアの方が、30人程小雨の寒い中、写真を撮っていました。

本日は11月最後の例会になりました。時の経つのも早いもので来週からは12月(師走)になります。12月は特にいつもの月より時間が早く過ぎ、ただ慌しいのですが、当社も半期のメにもなりますので、あと1ヶ月頑張りたいと思っています。

ゲストのご紹介(国際青少年交換受入学生) Brianna CARDINA さん お小遣い支給



ビジターのご紹介 なし

Brianna CARDINA さん：今晚はブリアナです。私の学校で七尾に行きましたすごかった。いるかを見たり寿司をたべました。

《 食 事 》 会長：いただきます。

## 幹事・委員会報告



井口千夏副幹事：①来週5日は年次総会です。次年度理事役員の発表がありますのでよろしくお願ひします。②第4回日台ロータリー親善会議の案内が来ております。来年1月26日です。詳細を回覧しますので、参加される方は事務局までお願いします。(詳細 後述)



**村田祐一**クラブ管理運営直前委員長 **理事**：11/24 の子供の低線量被曝の講演会には何人かのクラブの方に来ていただき有り難うございました。とても盛況でで勉強になりました。



**金沂秀**会員組織委員長： 先日理事会で話しましたが、光州にいつてまいりました。あちらの施設の子とこちらの知的障害の子の交流を進めたいとのことです。又次年度の地区大会や創立記念日には是非沢山の方が光州に来て下さいとの事でした。



**稲山訓央**社会奉仕委員： 大学で演劇指導をしている関係で 金沢に新しい演劇を起そうという方が来られました。劇団ハーモニクス旗揚げ公演について 演劇と映像を融合させた新感覚な舞台です。 12/6 (金)～8 (日) 金沢市民芸術村です。また 12/23 に私クリスマスコンサートをいたします。



**大路孝之**副 SAA: 楊立山君の卓話で藤間勘菊さんと私で能都 RC へ行ってきました。そこは百万石と違い会長の「いただきます。」はなく起立しての点鐘ではありませんでした。 お知らせとして 21 世紀美術館で美大の先生方の作品展があります。12/8 (日) までです。また久世先生の作品展と演奏会があります。コンサートホール地下の交流ホールにて 12/14 (土) 15 (日) です。



**川きみよ**国際奉仕委員長：また書きき損じハガキキャンペーンをしますのでよろしくお祈いします。息子より連絡がありました。男なので殆ど便りがないのですが、月 1 回ぐらいで元気そうです。ウサギ狩りをしたとか車の運転をしたとかで楽しそうでした。

## ニコニコBOX

¥7,000- 本年度 ¥307,000- 残高 ¥5,075,307



**野城会長**：先週はお休みをいたし、皆様にご迷惑をおかけいたしました。東海林様、本日の卓話楽しみにしております。宜しくお祈いいたします。井口会員：本日は上杉幹事が出張にて欠席の為、幹事見習いの私が報告させて頂きました。東海林先生、本日は宜しくお祈いします。 **魏会員**：皆さん、こんばんわ。先週の例会、娘の百夏に JCI JAPAN 少年少女国連大使事業についてご報告させて頂き、ありがとうございました。本人にとってとても成長の機会をいただきました。東海林会員の卓話を楽しみにしております。 **木場会員**：東海林会員の卓話、楽しみにしています。ブリアナさん、ようこそ。 **藤間会員**：ブリアナ・カルディナさん、ようこそ。寒くなりましたね。風邪ひかないように。東海林さん、よろしく。卓話楽しみにしています。 **水野会員**：東海林様のお話、楽しみにしています。

## 講話の時間

### 「音楽と私」 東海林也令子 (会員)

**紹介**：今年度は職業奉仕委員会事業として 3 人の方にお祈いしました。本日は二木秀樹会員につづいて東海林也令子会員です。国立音楽大学器楽科ピアノ専攻をでられ、現在自宅にてピアノ教室 ピアノデザインジュを開かれています。2002 に石川県ピアノ協会会長、2012 北国芸能賞受賞、全日本ピアノ指導者協会評議員を務められています。本日は謝礼の一万円を東日本大震災にご寄付いただきます。木場紀子



**講話**：私の職業奉仕は、この百万石ロータリークラブの皆様のお力添えの賜物と、心から感謝しております。石川県ピアノ協会の賛助会員になっていただいたり、また、何かコンサートなどの行事があるたびに、ご協賛をいただいたり、本当に多大なご協力いただいております。それから、私がかかわっている「いしかわ国際ピアノコンクール」「ピティナ・ピアノコンペティション」には、金沢百万石ロータリークラブ賞として、トロフィーと賞状を出していただいております。この場をお借りして、改めて感謝とお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。今後とも、よろしくお祈いいたします。



昨年「北国芸能賞」をいただきました。日本の伝統工芸や邦楽が盛んな金沢で、ピアノ・洋楽 に光を当てていただけたことは、洋楽を仕事にされている方々にとって、とても励みになったことと思います。洋楽では初めてだったそうです。特にピアノ指導者として評価していただけたことは、単なる‘おけいごと’ではなく、人間形成としてのピアノ教育の役割の重要性を社会に認めていただけたものと、とても嬉しく思っています。

そして、この芸能賞受賞のおかげで、私が正会員で評議員として所属している一般社団法人全日本ピアノ指導者協会からも、ピアノ教育の果たす社会的役割を世にしらしめ、当協会の活動に多大なる力を与

えてくださいました。と、感謝状までいただきました。全国のピアノ指導者の励みになったからだと思います。

北國新聞には、40年以上長きにわたり、幅広い世代を指導し、全国クラスの奏者を多く育てた。指導者育成にも取り組み、石川のレベル向上に寄与した・・・と、書いてありました。

この「北國芸能賞」をいただいた理由を考えてみました。

3つあると思います。

1. 「全国レベルの奏者を育てた」・・・これは、

自宅でのレッスンになるかと思いますが・・・

ピアノ・音楽というのは、瞬間の芸術ですよね。先日の二木さんのように結果が目に見えるものではないので、何も見ていただくものがないのですが・・・

ピアノの「音」は、ポーンと弾いて長く伸びるのですが、だんだん消えていってしまいます。ピアノは減衰楽器なんですね。あるピアニストが、ショパンの話のなかでこんなことをおっしゃっていました・・・消えてなくなるものは「はかない」「はかない」ものは「美しい」だから、ピアノの音は美しいのです。ショパンはこの美しいピアノの音に魅せられて、たくさんのピアノ曲を作ったと・・・。

私は、その美しい音のピアノを通して、一人でも多くの子どもたちに「音楽の素晴らしさ・楽しさ」を伝えたいという想いで、国立音楽大学を卒業してすぐ、迷わずこの金沢に帰ってきました。

「音楽」の力は素晴らしいですよ！！ 時には勇気づけてくれたり、慰めてくれたりと。私たちの生活の中には欠かせないものだと思っています。

その「音楽」を生涯の友として、また、一人の人間として人格を高め、生きる喜びを実感して、心豊かに成長してほしい・・・美しいものを素直に「美しい」と感じる柔軟な感性を育ててほしい・・・そんな「想い」で40年あまりレッスンを続けてきました。夢中にといい、自然にといい・・・それで、今の私があり、高校の同期生の北山さんの推薦で、お仲間に入れていただき、こうやって、ロータリーの皆様との出逢いがあったわけです。

実際のレッスンでは、ポーンと音を鳴らして、良く聴いてごらん～と、音をきかせる。そのうち「色」がついて見えてくるのよ！と。「音色」という漢字を教えて、音には色があって、ここは何色のイメージかな？ 何色の音で弾いたら良いか？ など考えさせる。

漢字の「聴く」という字は、耳+目と心で聴く・・・耳だけで聴くのではないことを教える。

「音」と「音」との間、目に見えない空間に「音楽」の表情がある。

「のび」「つや」「はり」のある音をイメージさせる。

楽譜を正しく読む・・・作曲者からのメッセージだから。

お付き合いは20年ほどになりますが、10年ほど前から、ハンガリー国立リスト音楽院のナードル・ジョルジュ教授に、毎年、我が家でレッスンをさせていただくようになりました。ある時、「ピアニストは誰でもなれるが、優秀な指導者は誰でもなれるものではない」というナードル教授の言葉・・・ちょっと語弊があるかもしれませんが・・・私の心に強く響きました。生徒をレッスンしていただくと、私の指導が見えるのです。良い指導をしているとほめていただいたことも、人間、ほめられると嬉しくなりますよね！！ だから、私もレッスンの中では「褒めてのばす」を心がけていますが・・・当時、子供たちのレッスンが楽しくなっていた私の心の支えとなり、私はもっともっと優秀な指導者になりたい・・・優秀な生徒を育てたい・・・と、強く思うようになりました。

もっと素敵な演奏をするにはどうしたら良いか？ 音が伸びる「弦楽器」とのアンサンブルの体験がとても大切だということに気がついて、知り合いのプロのチェリストの指導のもと、ピアノトリオなどアンサンブルのレッスンを積み重ねてきました。その成果を発表する「アンサンブルのよろこびコンサート」を開催していくうちに、ピアニストにとっては憧れの「ピアノコンチェルト」オーケストラとの共演を子供たちに体験させたい・・・地元でオーケストラ・アンサンブル金沢という素晴らしいプロのオーケストラがあるじゃないですか？と。子供だからこそ、プロのオーケストラと一緒に・・・と、私の「夢」は膨らんで行きました。

そして、2001年にピアノデザンジュ30周年記念として、「ピアノコンチェルトとの出逢い」を開催し、私の夢は実現したのです。5年ごとに開催していますので、2006年、そして、2011年12月には、三回目の「40周年記念ピアノコンチェルトとの出逢い」を開催しました。

出演した子供たちやそのご家族には「感動」と「喜び」を、また、聴きにきた次世代の子供たちには、次はわたしも・・・と、「大きな夢」を与えるコンサートになっています。

アンサンブルレッスンや、コンチェルト体験などを積み重ね、私なりに、指導法を考えて実践していくうちに、全国大会に参加でき、優秀な成績をおさめるような生徒たちが育ってきたのだと思います。

2. 「指導者育成にも取り組み」・・・これは、

若いピアノ指導者の方々に、私の今までの経験から、少しでも日ごろのレッスンに役に立てばと「ピアノ指導者キャリアアップセミナー」を、北國文化センターで、月に一回開催しています。

音大では、自分が演奏することは習ってきましたが、いざ教えようと思った時には、何をどう教えたら良いか？ど

んなテキストを使えばよいのか？わかりませんでしたので・・・何となく、自分が小さいときに習ってきたテキストを使い、何となくレッスンしていたと思います、今思えば、その頃の生徒さん・・・もう先生になっていたりしますが・・・ちゃんと指導していなかったような気がしています。ごめんなさい・・・という感じです。でも、立派な先生になっているから大丈夫だったのかな～と思っていますが・・・。

このセミナーでは、私の「企業秘密」とでもいうようなことを、お話するものです。中学生の生徒が、このセミナーのチラシを見て「先生、これってライバルを作っているようなものじゃないの？」と言っていました。確かにそうかな？と思いますが、たいした「企業秘密」でもない・・・優秀な指導者が増えて、優秀な子どもたちが増えれば、石川県のレベルがあがりますので。

曲の指導のポイント・子供たちへの言葉かけ・演奏法のアドバイス・音の出し方・タッチ・手首や腕の使い方などを実際にピアノを弾きながら・・・腕を持ってあげたり、手首を下から支えてあげたり、そうすると、今までと弾く感じが全然違う！音が良くなった！と、喜んでもらっています。

また、日ごろのレッスンでの悩みなどの相談にのり、私の分かる範囲で答えています。グループレッスンなので、参加者同士でも、そんな時は、こうだった・・・とか、お互いに情報交換して盛り上がっています。

その言葉かけや、手首・肘の使い方、今日のレッスンで早速使わせてもらいます！！と嬉しそうに反応が返ってくるので、ちょっとは役に立っているのかな～と、私も楽しく講義をしています。

3. 「石川のレベル向上に寄与した」・・・これは、

2年前「第1回 いしかわ国際ピアノコンクール」を、ピアノ協会設立40周年記念事業として開催しました。2年に一回開催ですので、今年、7月末に第2回を開催しました。

世界に羽ばたくピアニストを石川県から育てたい・・・国内外からの優秀な才能ある演奏を地元で聴けるということは、私たち指導者にとっても、とても勉強になり地元子どもたちにとっても刺激になり石川県のピアノのレベルが上がることにつながる・・・という想いからです。

それから、国内外からの参加者に、この文化と歴史のある素晴らしい金沢の街を観てほしい・・・「町おこし」とまでは行きませんが、そんな想いもありコンクールを開催しました。

石丸先生の奥様 恭子お姉さまと呼んでいます・・・実は、初代会長 川口恒子先生のお弟子さんなのです。川口会長も以前から、石川県としてのコンクールがあれば良いのにと仰っていましたので・・・中村紘子さんからご招待を受けて、浜松国際ピアノコンクールを聴いて、見てきてから、どうせするなら「国際的規模で」と、私の中で思っていました。それを、恭子お姉さまに相談したら、「どうせするなら、川口先生が生きていらっしゃる間にしてあげて・・・」という、一言で、本当にそうだ・・・と思って動き始め実現したわけです。

第1回の優勝者 野上真梨子さん、今年第2回の優勝者 竹田理琴乃さん 昨年例会でも演奏させていただきましたが、この二人、今年の 第82回日本音楽コンクール ピアノ部門で優秀な成績をおさめています。

竹田さんは、ファイナルに残り 179 名中 三位でした。野上さんは、ファイナルには進めませんでした。三次予選の 11 名の中に残っていました。 いしかわ国際のレベルも高く、格が上がったかな～と、密かに喜んでます。

これら3つの事を評価していただき、北國芸能賞につながったのだと思っています。

私が今、かかわっている主な団体との職業履歴・・・

■石川県ピアノ協会 現在会長

■学校関係 講師

金沢大学教育学部 まだお城の中に校舎があったころから、角間に移ってしばらく 16 年間ほど基礎ピアノの非常勤講師。

辰巳丘高校芸術コースの開校準備段階から携わり、12 年間ピアノコースの非常勤講師。

福井の仁愛女子短期大学 音楽学部のピアノ講師を 11 年間務めました。

それから、これは、ピアノではないのですが、金沢医科大学に 4 年制看護学部ができ、4 年間「生活と音楽」という講義を持っていました。

■国立音楽大学同調会

国立音楽大学同調会石川県支部の支部長として、ピアノ協会会長になるまでの 30 年間ほどお世話をさせていただきました。

■一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 会員総数 14239 名

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（通称ピティナ）の正会員で評議員も仰せつかり、本部のセミナー委員としていろいろ企画しています。

そして、そのピティナの金沢西支部が 3 年ほど前から地域活動を始めました。私は運営委員長として、ピティナ・ピアノコンペティション金沢西支部予選の開催やセミナーの企画など、お世話させていただいております。

また、ピティナ・ピアノステップの金沢ステーション代表として、ピアノ・ステップの開催・・・これは、年令を

問わず、ピアノが弾ければ誰でも参加できる、生涯学習として文科省認定の発表会のようなものです。プロの三人のアドバイザーがコメントを書いてくれます。

金沢ステーションは、金沢ではじめてステップを開催し、年2回開催しています。もう10年が経ち、今年の12月に20回目のステップを迎えます。今年86歳になられる男性の方で20回連続で参加される方もいらっしゃいます。

昨年、東京でですが、ステップで100回演奏をして、100回継続表彰された方がいらっしゃいます。女医さんで、毎回違う曲を弾かれるそうです。

■ショパン国際ピアノコンクール in ASIA の組織委員として、金沢地区大会の実行委員長兼審査員も毎年しています。

■日本バッハコンクール in kanazawa 実行委員会を結成し、金沢予選の開催のお世話。

■公益財団法人 日本ピアノ教育連盟オーディションのお世話と審査。

■グレンツェンピアノコンクールや、全日本ジュニアクラシック音楽コンクールの審査など。

すべて、ロータリー精神の職業奉仕・社会奉仕と思って頑張っています。

「ピアノデザインジュ」天使たちの奏でるピアノ・・・という意味ですが、その可愛い天使たちの笑顔や温かいご家族の皆様にも囲まれ、ピアノを教えながら、それ以上に多くを学ばせていただき、ピアノ指導者として育てていただいたものと感謝しております。

ピアノが好き、子供が好き、大好きなことを一生の仕事としていける幸せを感じているこの頃です。

もっともっと、素敵な社会奉仕・職業奉仕ができるよう、これからも頑張りたいと思っています。

私が何をしてきたか？ 振り返る機会になりました。

ご清聴ありがとうございました。

東海林 也令子

点 鐘

## 年忘れ例会のお知らせ

クラブ管理運営委員長 西村 邦雄 親睦委員長 二木 秀樹

毎年恒例の『オークション』や『ビンゴゲーム』を企画しておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせの上、ご出席頂きますようご案内申し上げます。

日 時 12月19日(木) 19:00点鐘(～21:30頃) 場 所 ホテル日航金沢 3F「ルミエール」

会費 会 員 8,000円 御同伴者(中学生以上) 6,000円 子供(小学生以下) 3,000円

切 12月13日(金)

※オークションへの出品は、時間の関係上 一人一品限りとさせていただきます。出品用紙を後日配布しますので、当日添付の上ご持参下さい。

## 日台ロータリー親善会議からのご案内

ガバナー

湯浅外志男

第4回日台ロータリー親善会議のご案内拝啓 向寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃はロータリー活動に多大なるご協力、ご尽力を賜り深く感謝致しております。

さて、早速ではございますが、日台ロータリー親善会議の板橋敏雄総裁より、標題に関するご案内がまいりました。当初の2014年3月に開催を予定致しておりましたが、台湾側の事情により予定を前倒ししたため、開催日が迫ってのご案内となりました。開催間近のご案内となり、皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、多くのロータリーアンソしてご家族の皆様のご登録をお願い申し上げます。 敬具

開催日時 : 2014年1月26日(日) 14:00～20:30 ※行程は別紙参照

開催場所 : 台湾(台北) 圓山大飯店12階

〒10461 台北市中山区中山北路四段一号 TEL +886-2-2886-8888

登録料 : 会員 15,000円、ご家族 10,000円

登録締切 : 2013年12月20日(金)

別紙登録用紙に必要事項をご記入頂き、ガバナー事務所までご返信頂ければ幸いです。

振込先 : 北陸銀行 小松支店 普通6028849

R I D 2610 13-14ガバナー事務所

(アールアイ 2610 13-14ガバナー・ジ・ムシヨ) ※振込手数料は各自にてご負担下さい

その他 : 恐れ入りますが、登録料をお振込み頂きましたら別紙「第4回日台ロータリー親善会議登録料振込通知書」をご提出頂ければ幸いです。

事務局まで